

# まちのくすりやさん 第2号

## 今回のおはなし

胃薬の話

ザ・タバコ(妊婦とタバコ)

Q&A



### 胃薬の話

#### 胃のはたらき

胃は丈夫な筋肉できており、その表面は粘膜でおおわれています。

胃はその筋肉の動きによって、食べものを細かく、かゆ状にするとともに、ペプシンという消化酵素を出してタンパク質を分解します。ペプシンは酸性でよく働くので、胃の中は強い酸性になっていますが、胃は粘膜で守られている為健康な胃は侵される事はありません。

#### 胃に使われる薬

胃に使われるお薬には、健胃薬、消化薬、制酸薬、消化性潰瘍用薬や鎮痛・鎮けい薬があります。これらは単独で使われることもありますが、いくつかを配合して使うことが、むしろ多いようです。

- 健胃薬……胃の働きが悪くなったり、胃液がよく出なくなったりしたときに使います。苦味健胃薬、芳香性健胃薬などがあって、その味、香りが刺激となって効果が現れますから、口に合わないからといってオブラートに包んだりしてはいけません。
- 消化薬……健胃薬と似た意味のほか、消化酵素が含まれます。
- 制酸薬……胃の酸が多すぎると、胸やけやげっぷが起り、胃も荒らします。この酸を中和するために使いますが、度を過ぎると消化が悪くなります。
- 消化性潰瘍用薬……消化性潰瘍は、胃の酸で胃などが痛み、穴ができはじめたものです。これには制酸薬の他、胃の酸の出を抑えるもの、粘膜を保護するものなどを使います。
- 鎮痛・鎮けい薬……胃炎、胃潰瘍などによる痛み、胃の過剰運動を抑えるために使います。胃は過労や緊張、心配事などの精神面も悪影響を及ぼします。こういったことを重ねていると、慢性化して治りにくくなりますから気をつけましょう。最近の研究で胃潰瘍の原因にピロリ菌が注目されています。一週間の内服で大丈夫ですので、医師に診断をしていただいてきちんと除菌しましょう。



※服用時には、飲酒しない事！ 薬の効果が増強しすぎてしまいますのでご注意ください。

# ザ・タバコ

## 妊婦が禁煙すると・・・～タバコから赤ちゃんを守りましょう～

### ★乳幼児突然死が防げます。

乳幼児突然死症候群の6割以上が、妊婦自身の喫煙や、妊婦や赤ちゃんの周囲の喫煙と関係があります。

### ★先天異常が防げます。

先天性心疾患や無脳症等の先天異常は妊婦の喫煙と関係あります。

### ★知能低下が防げます。

妊婦がタバコを吸うと、一酸化炭素やニコチン、発ガン物質等の有害物質が胎盤を通して赤ちゃんに蓄積していきます。

### ★肺がんが防げます。

小児期にタバコの煙を吸わされると、将来肺がんになる確率が3倍に増えると報告されています。（洲本市保健センター）



## Q&A

### Q:軟膏剤とクリーム剤とどう違うのですか？

A：クリームはべたつかないので、皮膚の表面が傷ついていない時や、乾燥している時に使います。ただ刺激が強いことがあります。軟膏は刺激が少ないので、患部がただれていたり、傷があったりジクジクしているときに使われます。

### Q:あまったお薬はどうしたらいいですか？

A：使いかけのお薬は早めに処分した方が安全です。お薬により異なりますが、シロップ剤は冷蔵庫に入れても10日前後、目薬は1ヶ月位、他のお薬も1年以内が望ましいと考えられます。一般用医薬品には、有効期限が表示してあります。



一言メッセージ “腸管出血性大腸菌感染症(0-157)にご注意を！”  
夏季に増加します。今年は、過去2年間と比較すると発生届出数が多くなっています。症状は、水様性下痢と腹痛を伴い発症します。日頃から**手洗いの励行**等により感染を予防しましょう。

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金:10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp